



2013年3月期第2四半期 決算説明会

2012年11月9日

日本写真印刷株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

0



本日のポイント

2013年3月期第2四半期の実績

- 売上高は計画を未達も、営業損益はほぼ計画通りで着地
 - デバイス：ゲーム機向け需要が堅調も、姫路工場の立ち上げ遅れ(2カ月)により赤字
 - 産業資材：PC向けの数量増加により生産効率が改善し、黒字化

2013年3月期第3四半期からの見通し

- 姫路工場が本格稼働、フィルムセンサーがメイントレンドに
 - 姫路工場の生産能力増強(30%増)
 - 加賀工場の姫路工法化に着手
- 2013年3月期下期の黒字化ならず
 - 円高、産業資材の需要が低調に転じる
 - デバイス生産能力増強の先行費用が発生

2014年3月期に向けて

- 2014年3月期はデバイスの成長が売上高・収益を牽引、黒字化に目処
 - 姫路・加賀の2工場体制で需要の拡大に対応
 - 産業資材、情報コミュニケーションはリーンの体制を追求
- 既存事業でキャッシュを創出し、新製品・新事業の拡大にドライブをかける

1



2013/3期第2四半期 デバイスが不調

2012年3月期第2四半期累計(4月～9月)経営成績

(百万円)

	2012/3期 H1実績	2013/3期 H1計画	2013/3期 H1実績	前年同期比	計画比
売上高	44,087	38,500	36,486	▲17.2%	▲5.2%
営業利益	▲4,181	▲5,000	▲5,080	—	—
営業利益率	▲9.5%	▲13.0%	▲13.9%	▲4.4pt	▲0.9pt
経常利益	▲4,808	▲5,000	▲5,870	—	—
四半期純利益	▲19,603	▲5,000	▲6,320	—	—
事業別					
売上高					
産業資材	20,957	—	14,903	▲28.9%	—
デバイス	14,485	—	12,968	▲10.5%	—
情報コミュニケーションその他	8,643	—	8,614	▲0.3%	—
営業利益					
産業資材	▲110	—	330	—	—
デバイス	▲1,441	—	▲2,777	—	—
情報コミュニケーションその他	14	—	29	+107.1%	—
管理・R&D	▲2,643	—	▲2,662	—	—

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

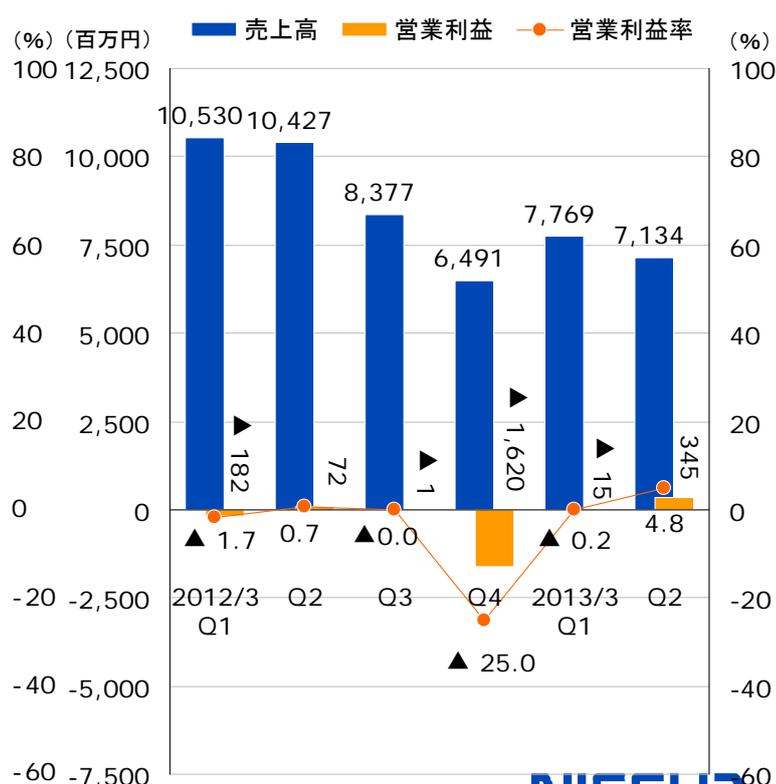
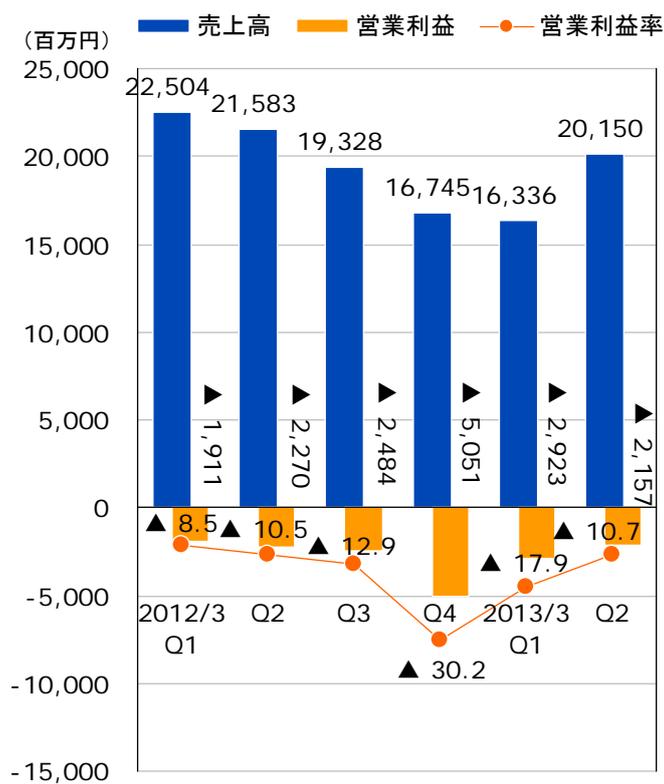
2



事業別 四半期の推移

全社

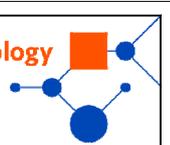
産業資材



NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

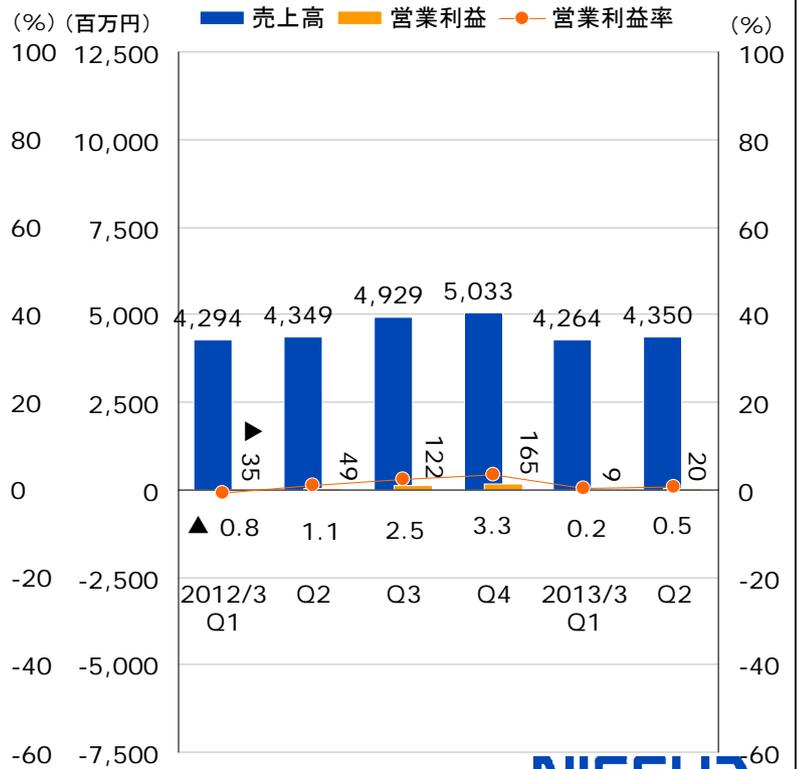
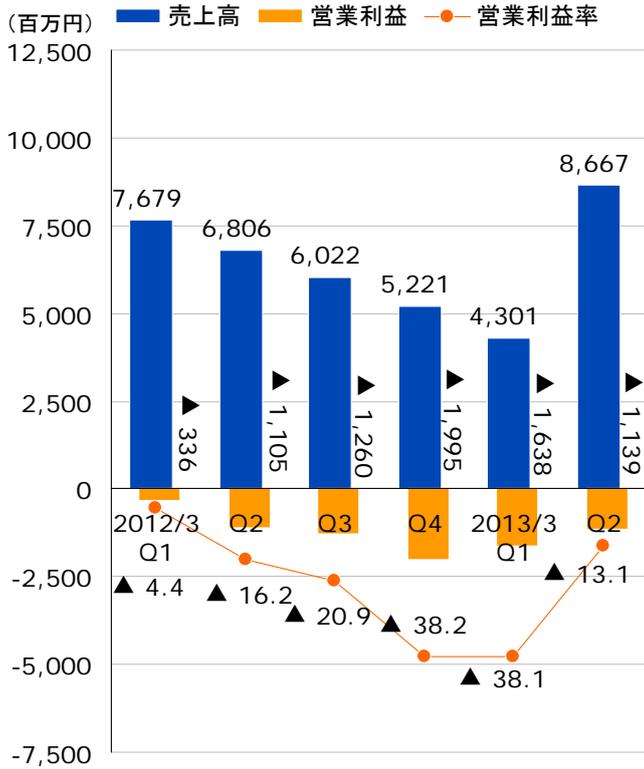
3



事業別 四半期の推移

デバイス

情報コミュニケーションその他

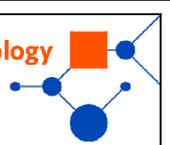


NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

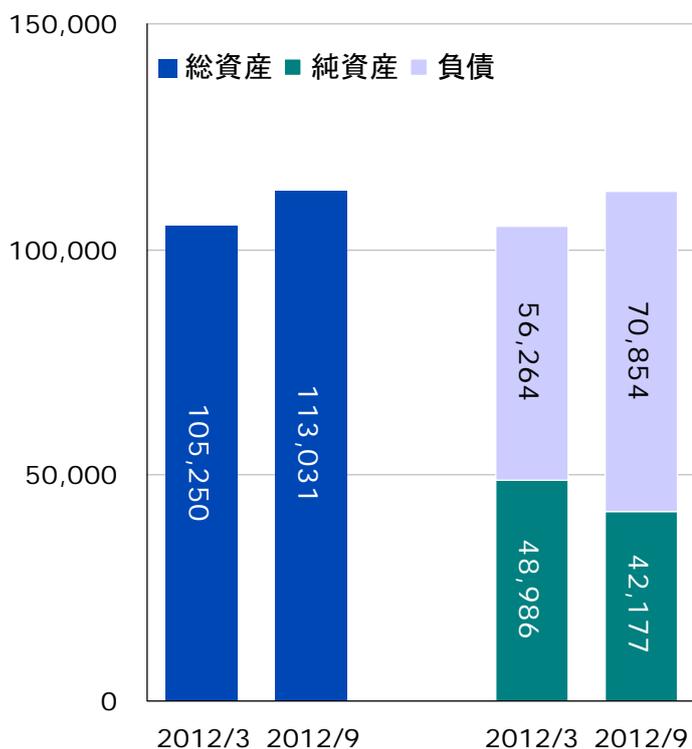
4

貸借対照表の概要



総資産、負債、純資産の前期末比増減

(百万円)



● 資産の主な増減

- 現預金の増加 +3,929
- 受取手形および売掛金の増加 +4,431
- 有形固定資産の増加 +3,203

● 負債の主な増減

- 支払手形および買掛金の増加 +3,340
- その他流動負債の増加 +11,693

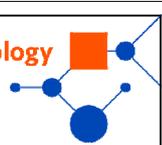
● 純資産の主な増減

- 四半期純損失の計上等に伴う利益剰余金減少 ▲6,320

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

5



キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

	2011/9 実績	2012/9 実績	前年同期比	2012/9期実績の概要	
営業活動による キャッシュ・フロー	7,148	6,273	▲875	●減価償却費	+4,048
				●仕入債務の純増額	+3,310
				●その他	+9,263
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,209	▲1,813	▲604	●有形・無形固定資産の取得により	▲3,483
				●定期預金の払戻により	+1,500
(フリーキャッシュ・ フロー)	5,939	4,460	▲1,479		
財務活動による キャッシュ・フロー	▲1,591	▲313	+1,278	●リース債務の返済により	▲311
現金及び現金同等物 の四半期末残高	21,058	23,416	+2,358		

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

6



2013/3期 通期予想を下方修正

2013年3月期業績予想

(百万円)

	2012/3期 実績	2013/3期 期初計画 (5/11公表)	2013/3期		2013/3期 今回予想 (11/9修正)	前期比	期初 計画比
			2013/3期 H1実績	2013/3期 H2予想			
売上高	80,160	97,000	36,486	48,514	85,000	+6.0%	▲12.4%
営業利益	▲11,716	▲3,800	▲5,080	▲4,320	▲9,400	—	—
営業利益率	▲14.6%	▲3.9%	▲13.9%	▲8.9%	▲11.1%	+3.5pt	▲7.2pt
経常利益	▲11,320	▲3,800	▲5,870	▲4,330	▲10,200	—	—
当期純利益	▲28,684	▲3,800	▲6,320	▲5,080	▲11,400	—	—
【事業別売上高】							
産業資材	35,825	25,000	14,903	10,097	25,000	▲30.2%	±0.0%
デバイス	25,728	53,000	12,968	28,532	41,500	+61.3%	▲21.7%
情報コミュニケーション その他	18,605	19,000	8,614	9,886	18,500	▲0.6%	▲2.6%

営業利益 修正要因

- 円高影響 ▲900百万円
- 既存製品の不調 ▲2,000百万円
- 姫路工場立ち上げ遅れ ▲1,000百万円
- 新型静電容量センサー増力
先行費用(姫路・加賀工場) ▲1,700百万円

計 ▲5,600百万円 (▲3,800→▲9,400百万円)

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

7

営業利益の増減要因(通期 修正要因)



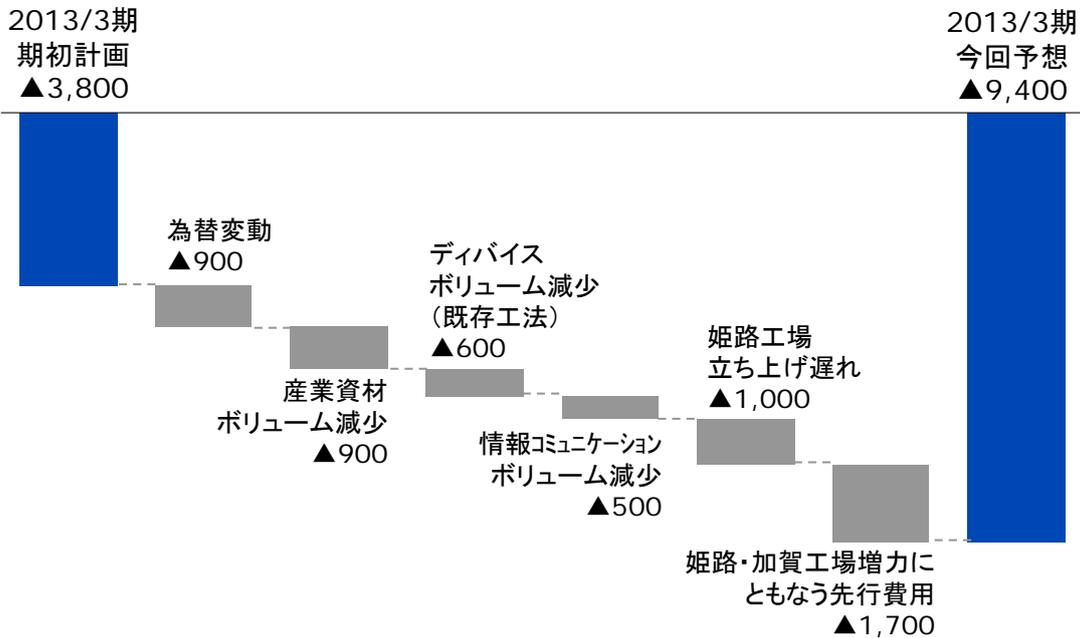
2013年3月期通期 期初計画→今回予想

(百万円)

為替レート

2013/3期前提(修正前): 80円/ドル

2013/3期前提(修正後): 78円/ドル



営業利益の増減要因(上期実績、下期見通し)



(百万円)

2012年3月期上期 → 2013年3月期上期

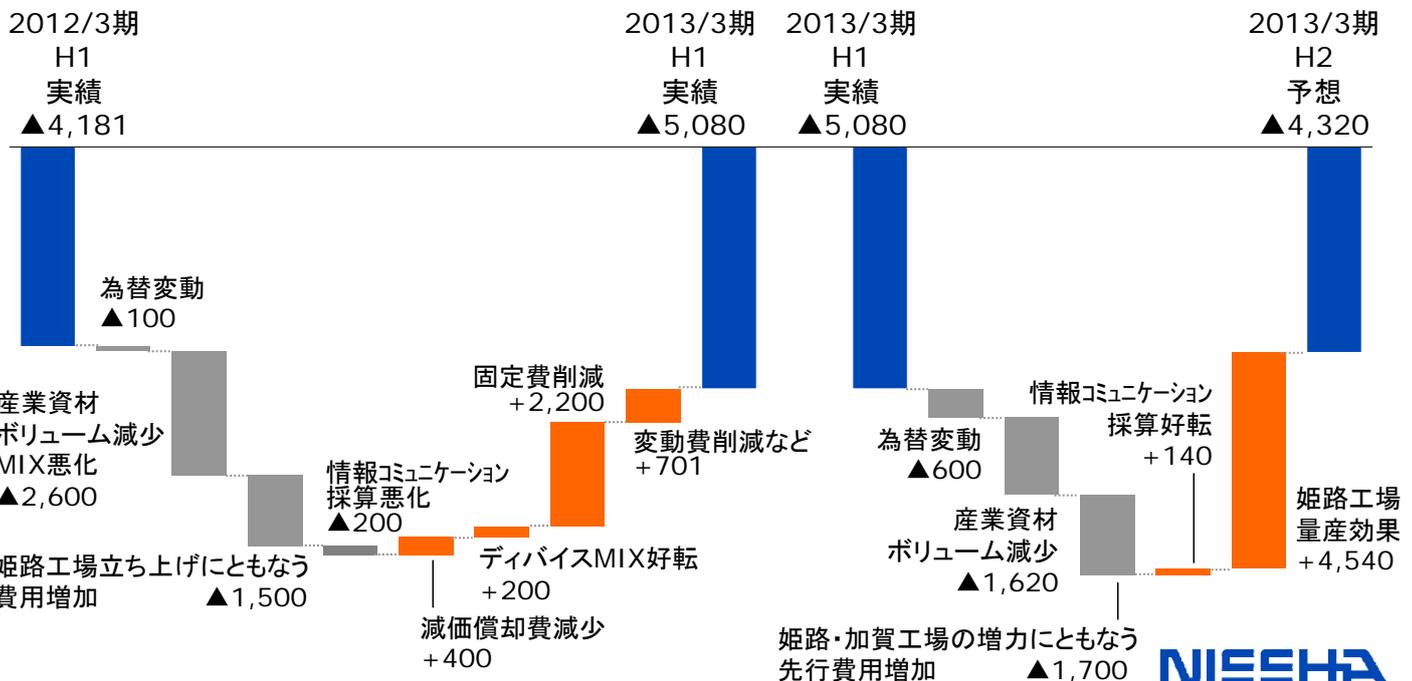
2013年3月期上期 → 2013年3月期下期

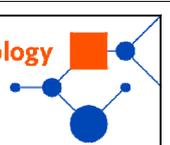
為替レート

2012/3期H1平均: 80円/ドル

2013/3期H1平均: 79円/ドル

2013/3期H2前提: 77円/ドル

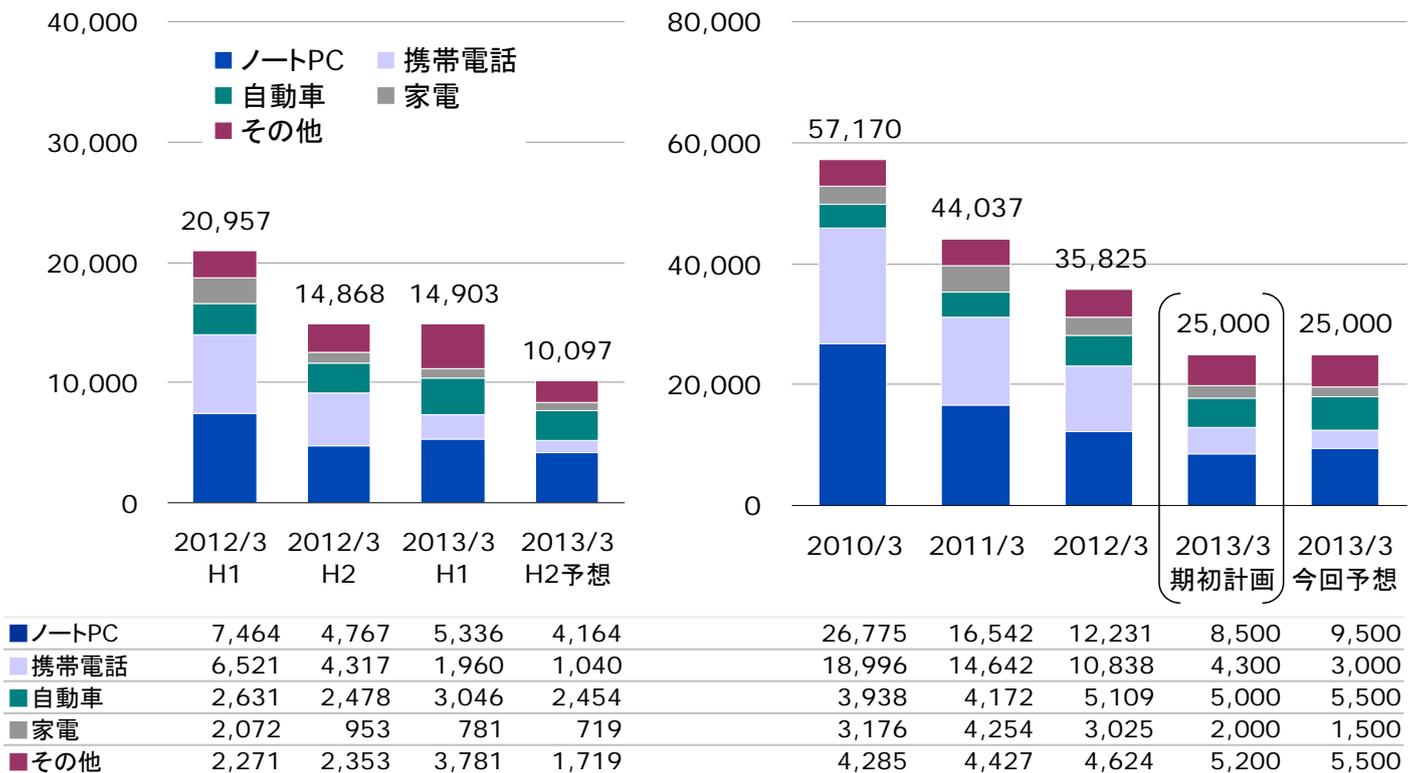




産業資材 ノートPC向けが下期に失速

産業資材 用途別売上高の推移

(百万円)



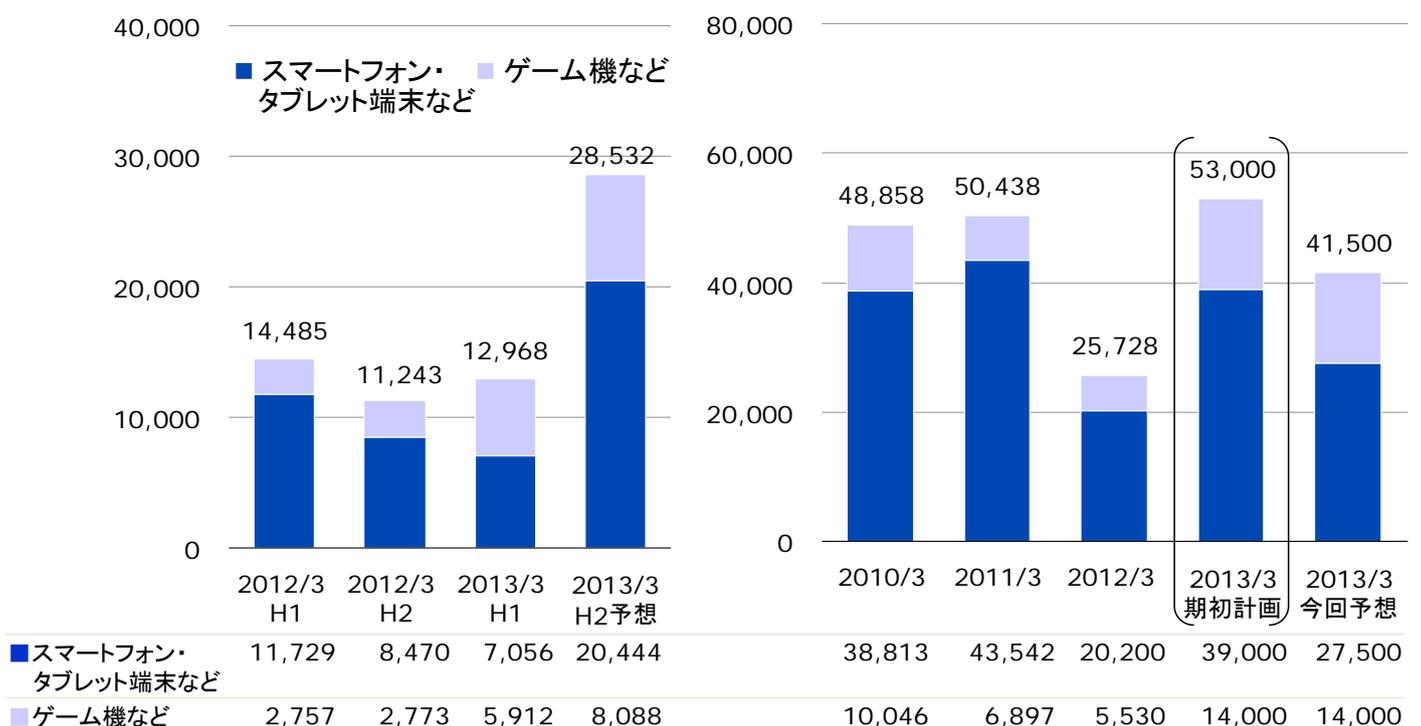
NISSHA

デバイス 姫路工場 上期は立ち上げ遅れ、下期は本格稼働へ



デバイス 用途別売上高の推移

(百万円)



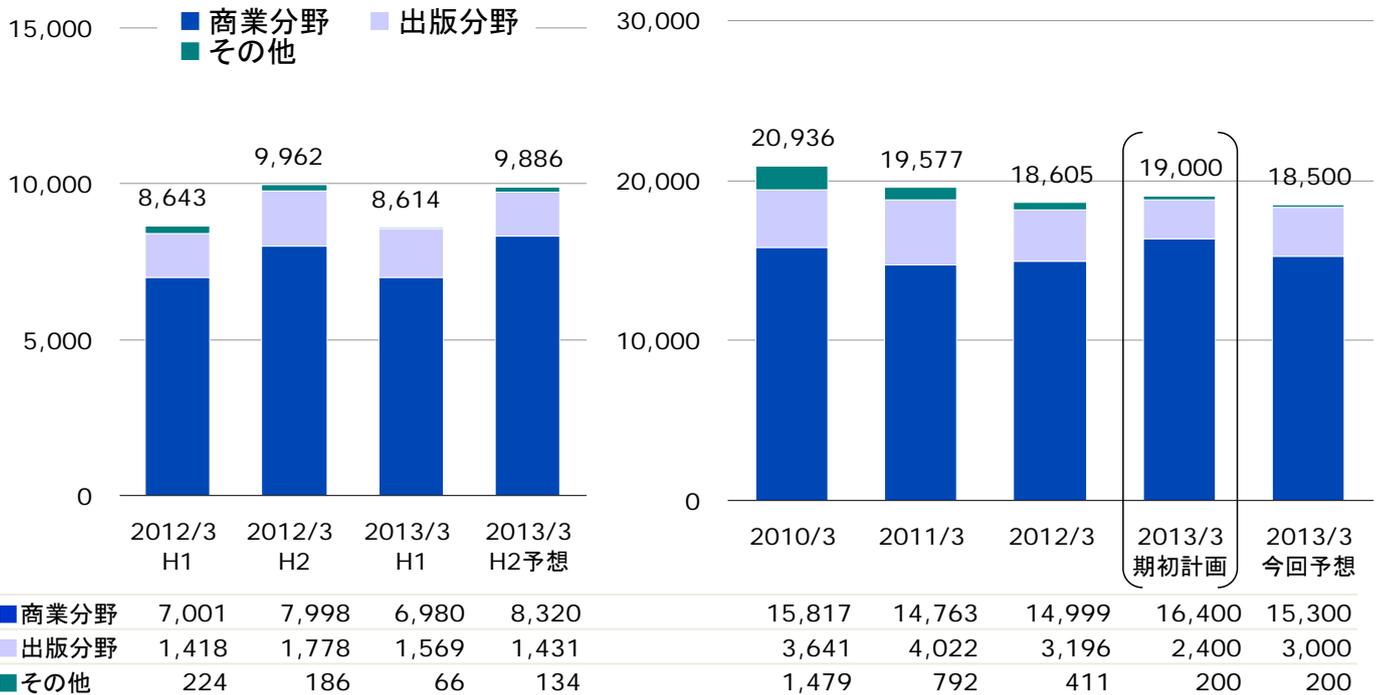
NISSHA



情報コミュニケーション 下期は商業分野に注力

情報コミュニケーションその他 分野別売上高の推移

(百万円)



※「その他」には情報コミュニケーション事業に含まれない不動産事業、人材派遣事業などの売上高を含みます。

NISSHA

12

Nissha Confidential Proprietary



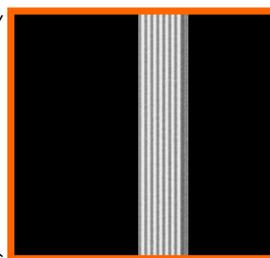
姫路工法(新型の静電容量フィルムセンサー)

●ガラスセンサーに対する優位を実現し、メイントレンドに

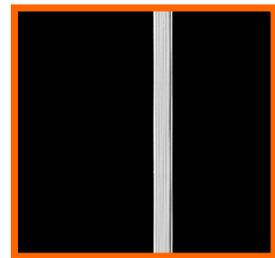
- 狭額縁(線が細い)
- 薄く、軽く、割れない
- 透過性、価格はガラスに同等



従来型
フィルムセンサー



新型
フィルムセンサー



線の細さ
従来型の半分以下

【ガラスセンサーを100とした比較】 ※センサー1枚当たり

	ガラスセンサー	新型 フィルムセンサー
厚み	100	61以下
比重	100	56以下
重量	100	34以下

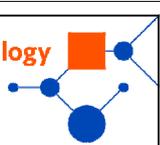
厚み ガラスの約6割以下

軽さ ガラスの約3分の1以下

NISSHA

13

Nissha Confidential Proprietary



需要に対応して姫路工法の生産能力を増強

- 2012年9月末より姫路工場の本格量産
- 生産能力をさらに拡大
 - 現有の生産能力：4インチスマートフォンサイズ換算16,000千台/月
 - 姫路工場を増力(30%増)
 - 加賀工場に姫路工法ラインを投入して再生
 - 姫路工場での立ち上げノウハウを移転し、垂直立ち上げ
 - 人員などの戦略資産を全社から姫路工法へシフト



姫路工場
(ナイテック・プレジジョン・アンド・テクノロジーズ株式会社)

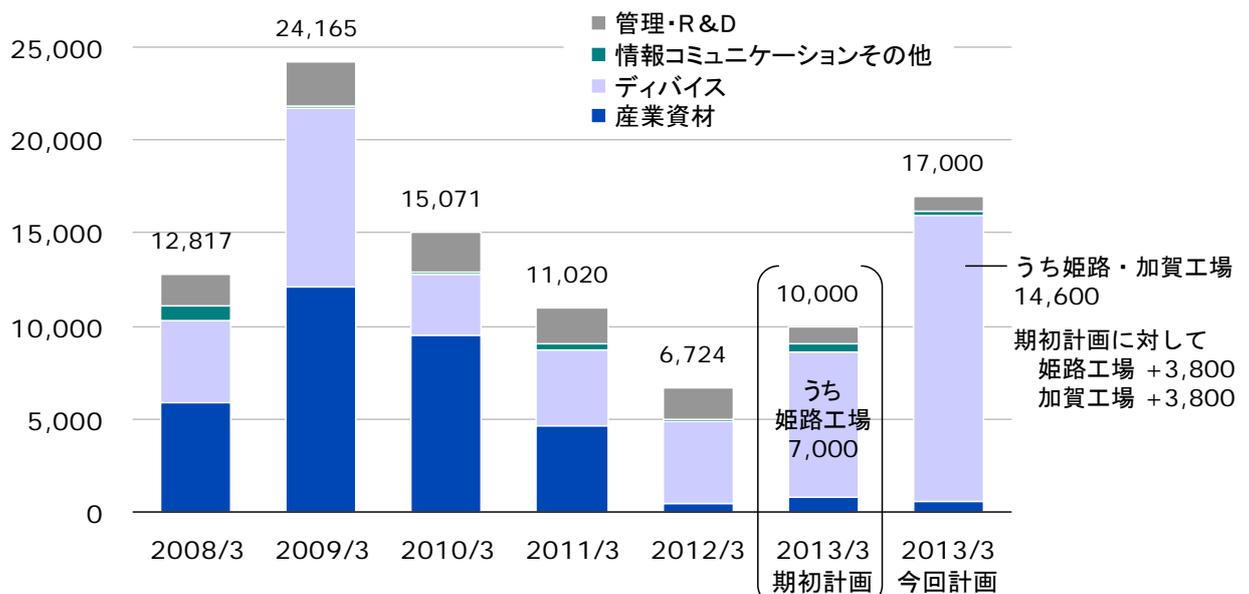
NISSHA



来期(2014/3期)の設備投資計画を前倒しで実行

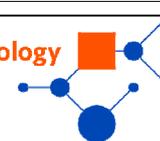
事業別 設備投資額の推移

(百万円)



産業資材	5,849	12,080	9,454	4,652	422	800	600
デバイス	4,418	9,585	3,278	4,100	4,470	7,800	15,400
情報コミュニケーションその他	794	117	119	342	76	400	200
管理・R&D	1,754	2,383	2,221	1,927	1,753	1,000	800

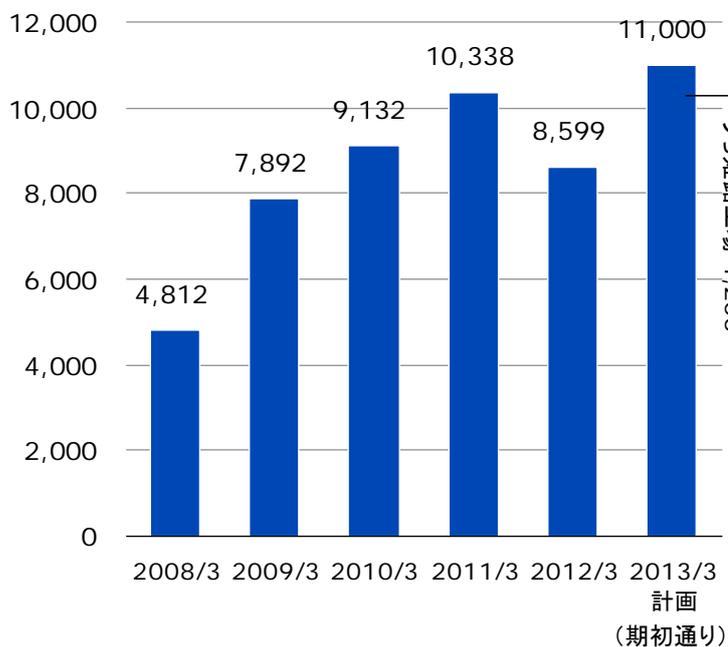
NISSHA



減価償却費、研究開発費

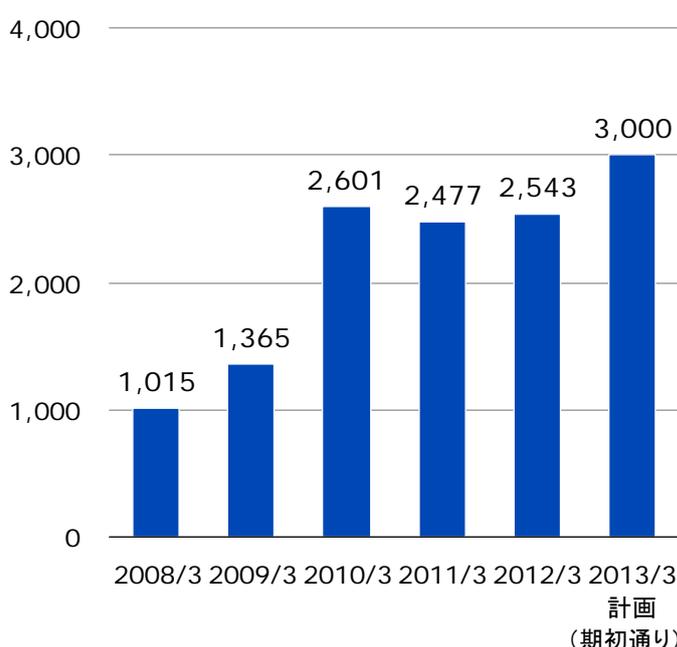
減価償却費の推移

(百万円)



研究開発費の推移

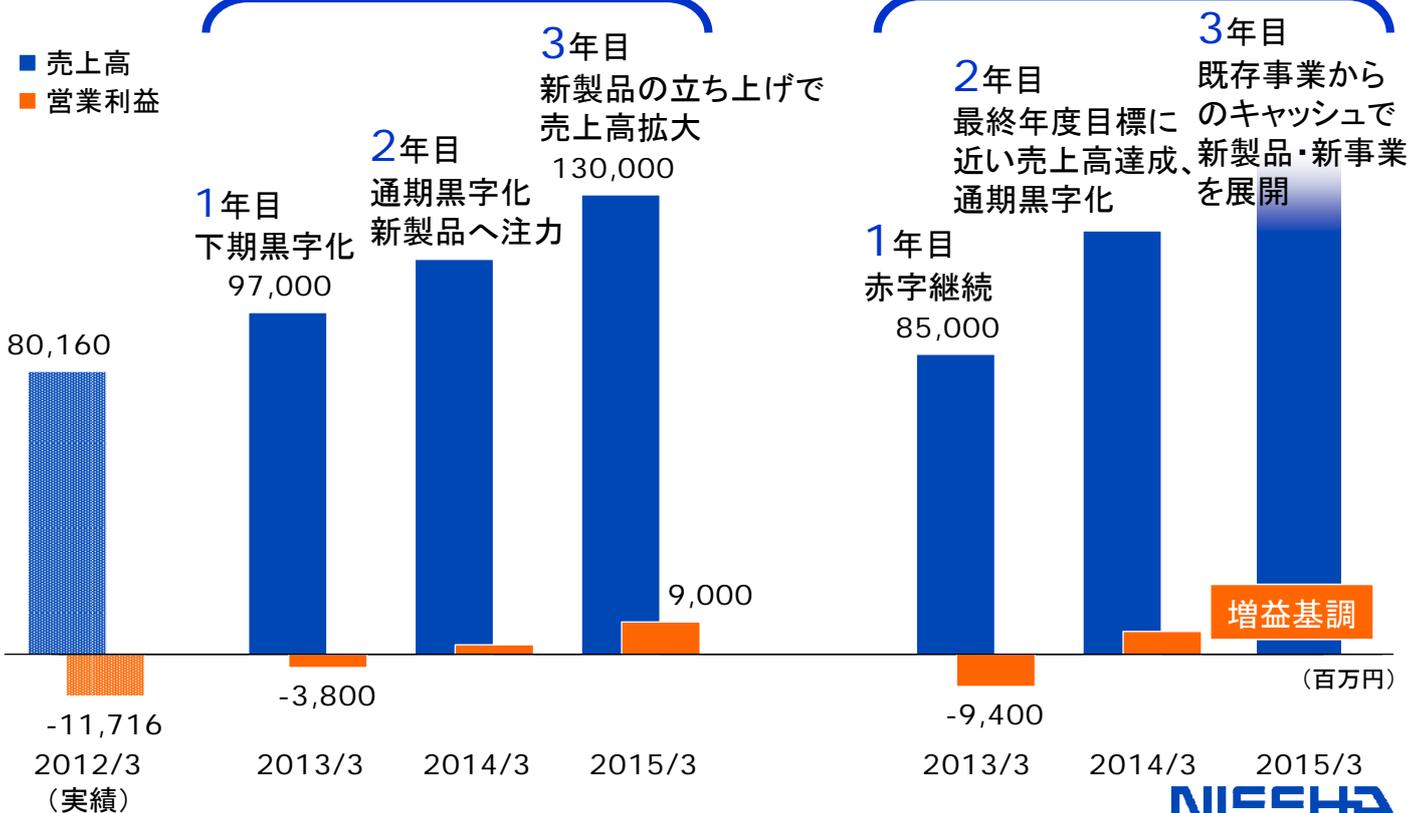
(百万円)

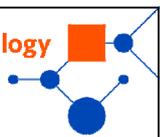


来期(2014/3期)は売上高伸長と通期黒字化で 中期経営計画の進捗が加速

第4次中期経営計画 (当初想定)

第4次中期経営計画 (今回想定)





ご清聴ありがとうございました。

NISSHA

【お問合せ先】

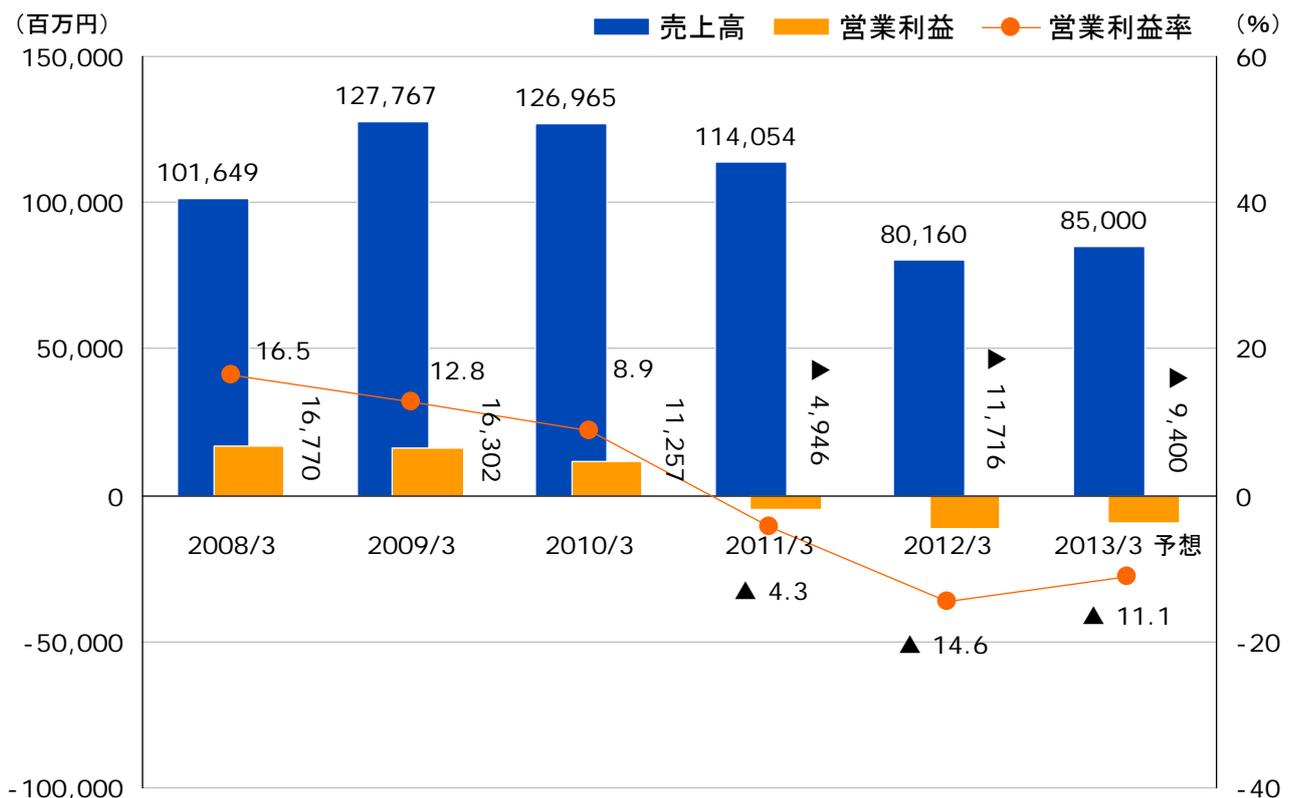
日本写真印刷株式会社
コーポレートコミュニケーション室IRグループ
室長 谷口哲也

T 075 823 5144 (IRグループ直通)

NISSHA



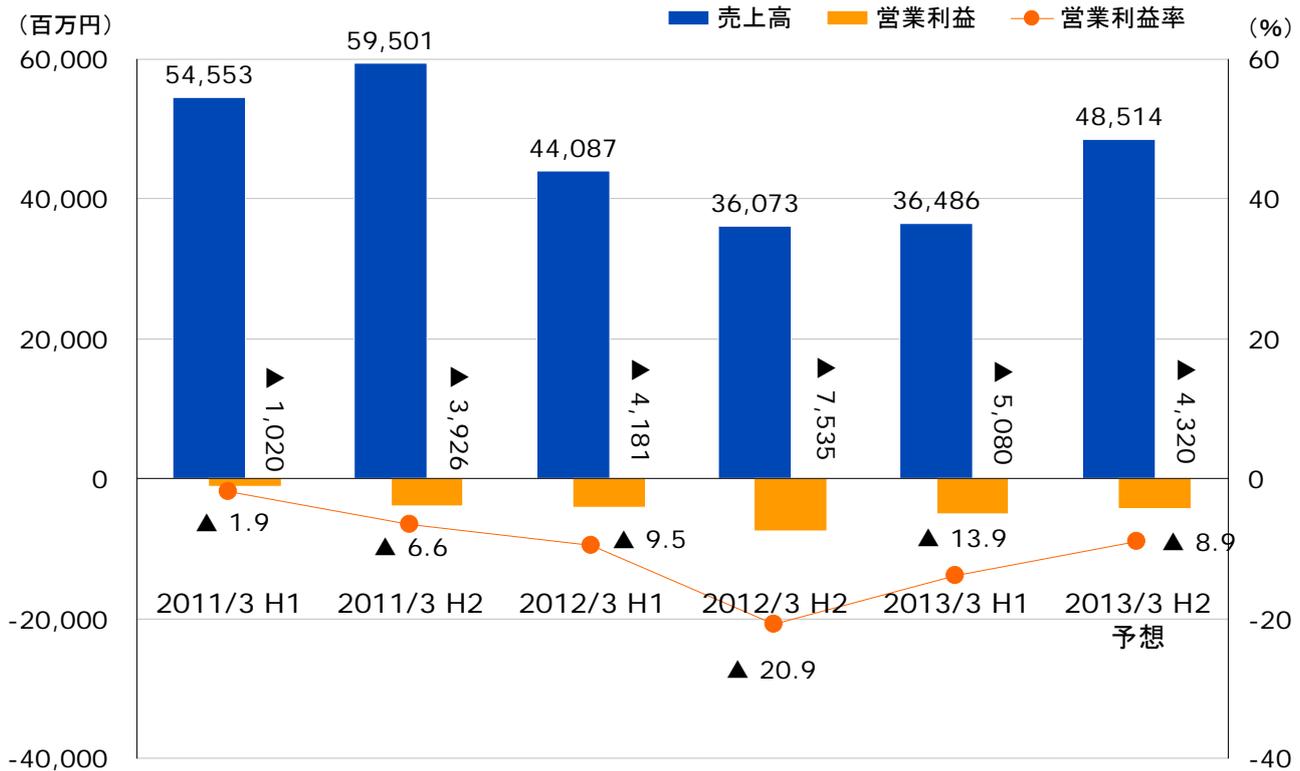
資料：業績推移(通期)



NISSHA



資料：業績推移(半期)



20

Nissha Confidential Proprietary



免責事項

本プレゼンテーション資料には、日本写真印刷株式会社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- 本資料の業績数値は、特に注記がない限り、全て連結ベースとなっております。

21

Nissha Confidential Proprietary